

平成14年度小学校ジョイフル英語学習実践事例

学校名	飛騨地区小学校	対象学年	第3学年	実施時期	1月
題材名	天気を尋ねよう				
主な表現 補助資料	How's the weather in (Korea, etc.)? It's (sunny, cloudy, rainy, partly cloudy, thunder storm). 世界地図 国旗カード 天気カード 電話機 糸電話				
本時の目標	天気の尋ね方を積極的に用いて、仲間との糸電話ゲームを楽しむことができる。				
学習活動	教師の指導・援助	留意点			
<p>1. ハロータイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT, JTE, HRT らと挨拶をし今日の自分の体調を答える。 Hello, everyone. Hello, ~. How are you? I'm ~. And you? <p>2. ウォーミングアップタイム 〔じゅうたん国旗ゲーム〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回学んだ国名と国旗の復習 2チームに分かれる。 各国の国旗を一列に並べ、両側から児童が国名を言いながら進む。 出会ったところで挨拶とジャンケンをし、勝ったら相手に国名を尋ねる。そして、前に進む。 A: What's this country? B: It's (Korea). <p>3. スキットタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際電話で相手の国の天気を尋ねる ALT, JTE のスキットを見る。 A: Hello, I'm (). B: Hello, I'm (). How are you? A: I'm (). How are you? B: I'm (). A: How's the weather in ()? B: It's (). How's the weather in ()? A: It's (). Thank you. Good-bye. B: Good-bye. <p>4. チャレンジタイム 〔糸電話ゲームにチャレンジ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> スキットタイムでの会話を使って実際に仲間と糸電話で会話をする。 <p>5. サンシャインタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日がんばった自分の姿や仲間の良さを見付け、カードに書く。 <p>6. グッバイタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 	<p>A=ALT, J=JTE, H=HRT</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者が教室の四方に分かれ、児童に声がする方向を向かせる。また、体調の答え方もそれぞれ変えて、表現の使い方を児童に伝える。 三者でルール説明を行い、ゲームで使う会話の例を示す。 Hは援助が必要な児童に個人的に説明を加える。また、児童の様子を観察しながらヒントを出したり、励ましたりして共にゲームに参加することで、温かな雰囲気を作り出す。 <p>AとJは児童の反応を見ながら、ゆっくりと大きな声でスキットを行う。(動作もややオーバーにしなが表情豊かに)</p> <ul style="list-style-type: none"> Hは児童の表情やつぶやきに着目し、ヒントを与えるなど理解の手助けをする。 AとJは児童と共に発音しながら一人一人に目を向け、発音が難しそうな場合には、くり返しモデルを聞かせ、正しい発音にふれさせる。 Hは大きな声を出している児童をほめ、励ます。 <p>三者で援助が必要な児童に個人的に支援する。また児童の表情やつぶやきに着目し、表現に自信がもてるように認めたり励ましたりする。</p> <p>三者で児童の自己評価を肯定的に評価するとともに、積極的に英語を用いたり、相手と関わったりしていた姿を認める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶するときには、目と目を合わせながら、相手に伝わる声で話す姿勢を身につけさせたい。 チームの仲間同士が教えあったり励まし合ったりするように促す。 積極的にゲームに参加する意欲を認め、広めていく。 間違いをおそれず、聞こえたように一生懸命発音することの大切を話す。また仲間の発音を笑わない温かな雰囲気を作るように日々心がける。 消極的な児童やペアでの活動がうまくいかない児童のそばに寄り添い、援助をする。 			